

# ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

## 取組名 職員と職長の情報共有① ～書類の共有

取り組んだ現場の休暇取得状況

4週8閉所（4週8休）

**取組み概要**

・職長にiPadを配布し、デジタルKYシステム、チャット・ファイル共有、写真共有等を利用。  
 ・現場ルールの周知や、現場の納まり確認、掃除分担、ゲート・クレーンの使用状況など職員・職長がお互いにタイムリーに情報共有。

**取組みの背景・課題**

・現場の課題として、「①工種（職長）が多く、②機材・搬出入調整、安全に関する業務が煩雑 ③業者間の作業調整」が職員の負担となっている。  
 ・職員は、職長との情報共有のため、電話、指示書など紙の配布、現場確認のための移動などに多くの時間をとられていた。

**取組み詳細**

**職長iPadの取組**



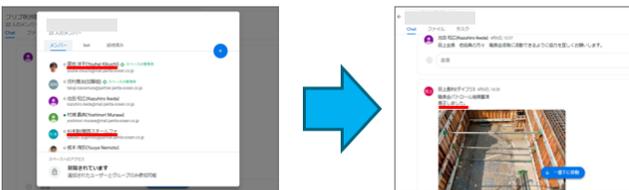
- 1) 現場の職長から納りの質疑をMeetやZoomで行う  
→ **職員の移動は不要**
- 2) 指示書等をAir drop・Dropboxを通じて送付  
→ **印刷の手間が不要・ペーパーレス**
- 3) グループチャットを使用し、タイムリーな指示  
→ **全体へ一斉に伝達可能、伝達忘れの軽減**
- 4) 画面が大きく、見やすい  
→ **図面・工程表・Buildeeの閲覧、入力がしやすい**

**利用事例**

**【デジタルKYシステム】**



**【職長・職員】チャットスペースで情報共有**



**ポイント**

・日々の巡視、連絡事項を共有！  
**全体周知が容易に！**

**効果**

- ・情報共有がタイムリーに行える。
- ・現場の往復回数が減った。
- ・職長からの問い合わせ電話の回数が減った。
- ・紙での配布が減り、印刷時間・配布手間が減った。

**利点**

- ・職員・職長間の正確な情報のタイムリーな共有により、工程・品質・安全面の良い影響がある。
- ・情報不足による行き違いがなくなる。

**継続のポイント**

- ・最新情報に更新する必要がある（管理）
- ・更新した内容の職長への伝え方

**改善点**

- ・職長iPadを持たない職長・作業員への情報共有方法  
⇒ 休憩所・打合せ室へのサイネージ設置の検討など（作業所掲示板）

**市販ソフト**

・Google workspace・Dropbox・Zoom・Buildee・Degisite-安全

**参考資料等**

・特になし

**適用条件等**

・ipad

**検索用分類**

- 意識改革 業務削減 効率化 人材育成・教育 ワークシェア  
適正工期 休暇 ワークライフバランス その他